	事業内容		実施内容細目(那覇市仕様書)	令和5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年 1月	2月	3月
現状分類	切れ目のない。在宅には、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、できる。	① 地域の医療・介護資源の把握と活用(リストやマップ等の作成と活用)	ア)地域の在宅医療・介護連携の現状を把握し、県統一資源マップ等の医療・介護資源に関する情報が充実できるよう、未登録施設や事業所へのアプローチを行う。	り付与に	伴う入力方法の周や新規登録の案内	ID付与に伴う入力方法の周 知、更新や新規登録の案内									
			イ)地域の医療・介護関係者に対して情報提供、県統 一資源マップ等の活用の促進を図る。			医療・1	个護おたすけマ				事業所等、医療利用の促進を図		の普及活動		
		② 在宅医療・介護連携の課題検が 変連携の策の 変を でででである。 ででである。 ででである。 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのい。 でのいる。 でのいる。 でのいる。 でのい。	ア) 地域の在宅医療と介護連携に関する課題抽出のため各種アンケート調査やヒアリング調査の実施、データ等の集約と分析を行う。				医療機関、		支援センターが		会ととアリン				
			イ)分析したものから課題抽出を行い、目標(指標) を設定する。			ちゃーがんじ	ゆう課との調整	野整会議、医療・介護連携運営委員会で設定し、ネットワーク協議会にて共有							
			ウ)医療・介護・行政等の多職種からなる関係者と在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会を年2回以上開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題抽出、解決策の検討を行う。				7/7 【第1回】 ネットワー ク協議会				11/10 【第2回】 ネットワーク 協議会				3/1 【第3回】 ネットワー ク協議会
• 課 題			エ)課題の解決に向けた会議において、地域の医療・介護の関係団体等と現状や課題、対応策、地域で目指す理想像(目標)の共有を行う。					各作業部会おる	よびネットワー	ーク協議会に	て共有				
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ア)-1 ていーあんだールール等の情報連携ツールの活用に関する課題を把握し、活用に向けた対応策の検討を行う。 (作業部会A)	第1回 MSW 意見交換会	第2回 MSW 意見交換会	第3回 MSW 意見交換会	第1回 リハビリ職 意見交換会	第2回リハビリ職意見交換会	第3回リハビリ職意見交換会	第1回 栄養士 意見交換会	第2回 栄養士 意見交換会	第3回 栄養士 意見交換会	第1回 薬剤師 意見交換会	第2回薬剤師意見交換会	第3回薬剤師意見交換会
			ア)-2 緊急連携シートの活用に関する課題を把握し、 活用に向けた対応策の検討を行う。 (作業部会A、B)	有料老人ホームへの普及	有料老人ホームへの普及		社協と普及進捗報告会				社協と普及進捗報告会				社協と普及進捗報告会
			イ)-1 地域における住民が必要とする、切れ目のない 在宅医療と在宅介護のサービス提供体制を検討し、具 体的な取り組みを企画立案する。 (医療・介護連携運営委員会) (在宅療養支援診療所連絡会)	4/5 医療·介護 連携運営 委員会		6/7 医療·介護 連携運営 委員会		8/2 医療•介護 連携運営 委員会		10/4 医療・介護 連携運営 委員会		12/6 医療·介護 連携運営 委員会		2/7 医療•介護 連携運営 委員会	
				4/27 在宅療養 支援診療所 連絡会		6/22 在宅療養 支援診療所 連絡会	7.	生宅医療の拡充 8/24 在宅療養 支援診療所 連絡会		について協議 10/26 在宅療養 支援診療所 連絡会	義、対策	12/28 在宅療養 支援診療所 連絡会		2/22 在宅療養 支援診療所 連絡会	
			イ)-2 介護関連施設と医療との連携に関する具体的な取り組みを企画立案する。 (作業部会B)	(再掲) 有料老人ホー ムへの研修	(再掲) 有料老人ホー ムへの研修	作業部会にてACP、看取りに関する事例検討会等企画、開催									
			イ)-3 認知症施策との連携に関する具体的な取り組みを企画立案する。 (作業部会D)		第1回 作業部会 意見交換会 打ち合わせ	第1回意見交換会			第2回 作業部会 意見交換会 打ち合わせ	第2回意見交換会			第3回 作業部会 意見交換会 打ち合わせ	第3回意見交換会	
			イ)-4身寄りがない方への意思決定支援に関する具体 的な取り組みを企画立案する。 (作業部会E)		第3回 身寄がない 方への意思決 定支援研修会		第4回 寄りが 急 おう おう おう おう おう かっ		作業部会にて第4回身寄りがない方への意思決定支援研修会企画、原					、開催	
			ウ)多職種からなる会議で検討・共有された内容を医療・介護の現場へ伝達できるよう連携体制の構築を図る。				7/7 【第1回】 ネットワー ク協議会				11/10 【第2回】 ネットワーク 協議会				3/1 【第3回】 ネットワー ク協議会

			コヤロンナスの乳にして				, II	5 /UI						• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	T 0 / J 1/ L L
	事業内容		実施内容細目(那覇市仕様書)	令和5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年 1月	2月	3月
2 (策 の		① 在宅医療・介護連携に関する相談 支援	ア)在宅医療・介護連携に関する相談窓口(平日午前8時30分から午後5時30分)の開設を行う。						随時対応	<u>,</u>					
			イ) 在宅医療・介護連携に関する相談窓口についての周知啓発を図る。						随時対応	J					
			ウ)地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療、介護の連携に関する相談を受け、						随時対応	<u></u>					
			必要な情報の提供及び助言を行う。 工)個別事例における地域の医療関係者と介護関係者						随時対応						
			の連携調整を行う。 ア)市民を対象とした在宅医療・介護に関するフォー								令和5年度			令和5年度 寿取の	
	地域者のというでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	② 地域住民への普 及啓発	ラムや講演会等の開催を年1回以上行う。								令和5年度 フォーラム 人生会議の日			看取り シンポジウ ム	
			イ)地域住民が在宅医療や介護、在宅における看取り や終末期ケア等について理解し、必要なサービスの選 択ができるよう、地域包括支援センターや公民館など			事務局:地	域包括支援セン	ンター、公民館	館等からの講師	「依頼に応じ、	小規模での普及	啓発を継続す	·る		
						作業	美部会C:地域&	回括支援センタ	ターと連携し「	「ちゅいしーし	ンー講習会」を企				
			(事務局、作業部会C) ウ)人生の最終段階における医療・ケアについての意												
			思決定支援に関するACP(アドバンス・ケア・プランニング)等について市民が理解しやすい「命しるべ」	作業部会C:地域住民と協働で「人生会議好事例集(仮)」の制作											
施		,	パンフレットを活用し普及啓発を行う。 (作業部会C)												
		③ 医療•介護関係	ア) ていーあんだールールや緊急連携シート等の情報連携ツールの活用について、在宅での看取り、救急医療時、入退院時の情報共有を促進し、医療・介護の連				作業部会A	、:てい一あん	だールール、	緊急連携シー	トに関する研修	会			
			携強化を図る。 (作業部会A、作業部会B)	作業部会B:緊急連携シート、ちむぐくルールに関する研修会											
			イ)医療・介護関係者へ多職種連携のための研修会の 開催を2か月に1回行うことで情報の共有や知識の習 得を図る。		第1回 スクラム塾 (訪問看護)	ハンセン病 後遺症に関す る研修会	第2回スクラム塾(訪問薬剤)		第3回スクラム塾(訪問介護)		第4回 スクラム塾 (訪問リハビリ)		第5回スクラム塾(訪問歯科)		第6回スクラム塾(訪問栄養)
									時、在宅医療の	実地研修					
			ウ)相互の理解を深めるための、地域の医療関係者に 介護に関する研修を年2回以上行う。					第2回 介護支援専 門員から退 院調整への	総合事業・グ	↑護保険	総合事業介護保険制度に関する動画		動画普及	• 啓発	
			エ)相互の理解を深めるための、地域の介護関係者に 医療に関する研修を年2回以上行う。	(再掲) 有料老人ホー ムへの研修	(再掲) 有料老人ホー ムへの研修			研修会		第1回 支援者向け ACP 研修会	介護の日				
対心策の	立案時に評価時期 や指標を定め、実 施した対応策につ いて、それに基づ き証価を行う。													令和5年度 年間事業 評価・報告	
多響の響の	の評価結果を踏まえ、目標設定や課	る評価を行つ。その評価結果を踏まれて、事業目標に関する指標については、那覇市と随時協議・検討している、目標設定や課とである。 関抽出、対応策の 実施内容等につい						ちゃーがん	んじゅう課との	調整会議で協	お議				
実の施実	題抽出、対応策の実施内容等につい														
旋	て、地域包括ケア システムの実現に ③ 次年度に向けた年間事業計画書は、年度末に那覇市と調整を行った 向け、改善のため うえで作成し、毎年4月中に提出をする。 の検討を行う。			令和5年度 年間事業 計画書提出											
その他事必	② 業務内容の進捗や方向性、成果を年度に1回、報告の機会(年度末3月頃)を設ける。 ③ その他目的達成に必要と認められる事項。			第1回 ちゃーがん じゅう課との 調整会議		第2回 ちゃーがん じゅう課との 調整会議		第3回 ちゃうがん じゅう課と の 調整会議		第4回 ちゃか じゅう 課と の 調整会議		第5回 ちゃーがん じゅう課との 調整会議		第6回 ちゃーがん じゅう課との 調整会議	
が要と認めている							生	生 に同	(学)(日)	生 7向		生 へに	(学40回	盤11同	令和5年度 事業成果 報告会
られる				第1回地区医師会コーディネーター等連絡会	第2回地区医師会コーディネーター等連絡会	第3回地区医師会コーディネーター等連絡会	第4回地区師会地区ディーターでである。	第5回 地区 ((((((((((((((((((コーディ	第7回 地区 い つ つ ディ ネ ー ディ ネ ・ 楽 経 会	第8回地区医師会コーディネーター等連絡会	第9回地区には、第一年のでは、第9回地区では、第9回地区では、第1年のではのは、第1年	第10回 地区 い つ で イ マ ー タ ー 条 連 絡	第11回地区では、地区ででは、一方では、一方では、一方では、中夕では、中夕では、連絡会は、中央には、中央には、中央には、中央には、中央には、中央には、中央には、中央に	コーディ
康づくり	前項の取り組みを進めるにあたり、企画立案時から、医師会等の関係団体と共同し、医療や介護・健康づくり部門等の市の課題に対する連携に努め、総合的に事業を進める人材の育成を行い、必要時には地域支援事業等に沿った連携・調整を図るとともに、災害・緊急時の対応も含め、今後検討を行う							《《字吐	医療•介護連排	生! つ! \ アt今	·=+				
は地域支援事業等に沿った連携・調整を図るとともに、災害・緊急時の対応も含め、今後検討を行うこととする。								火百吋の		ろに ノリー (快	נס				